

《社会実験》
期 間:令和7年3月1日～
3月30日まで
利用時間:午前10時～
午後5時まで

人と人、人とまちがつながる公共空間のあり方を考える社会実験として、「まちなかに緑豊かな広場があったら」、「子どもから高齢者まで気軽に立ち寄れる場所があったら」という思いを形にするため、将来の土地の利活用や再整備の可能性を探ることが目的です。



R7.3.6幼稚園活動



R7.3.1
オープニングイベント



R7.3.5移動図書館



平日利用の様子



ライトアップ

＼はじまります！！／
うぐいす温泉前が
緑の広場になる実験の1ヶ月！



2025. 3. 1 sat ▶ 3. 30 sun
OPEN: 10:00—17:00

人吉のまちの真ん中に、誰でも気軽に過ごせる広場が生まれます。
紺屋町の「うぐいす温泉」の敷地を社会実験として期間限定で活用し、
緑あふれる空間に、自由にくつろげるアウトドアファニチャーを設置。
まちのみなさんや事業者さんから「やってみたい」を募集して、
キッチンカーやポップアップショップ、アクティビティも登場予定です。

たとえば
「まちなかに居心地のよい緑豊かな広場があったら」
「子どもから高齢者まで、気軽に立ち寄って、自由に過ごせる場所があったら」
そんな思いを叶える、人と人とがつながり、人とまちがつながる社会実験。

まちなかの風景がちょっと変わるかも。

人吉復興まちづくりデザイン会議



公式 note ▶



公式 X ▶



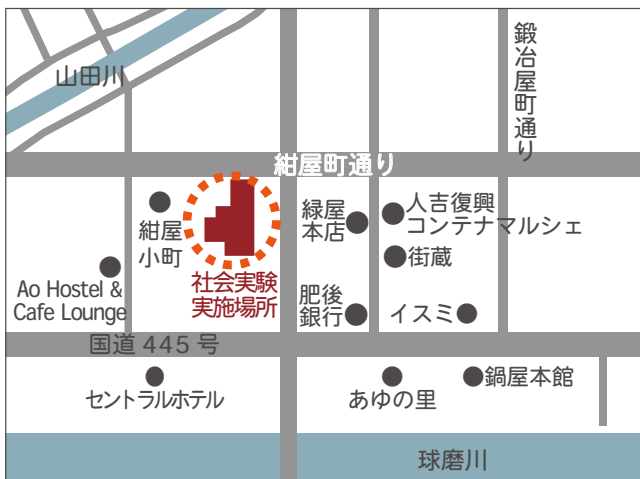
「人吉市復興まちづくりデザイン会議」から、まちのみなさんと応援してくださるみなさん、ご来訪のみなさんへ、令和2年7月の球磨川豪雨災害からの復興まちづくりにまつわる計画や取組、進捗をお届けしています。

■ 中心市街地公共空間活用社会実験とは？

被災建物が解体され、低未利用となっている土地や空き店舗・空き家が課題となっている中心市街地エリア。社会実験では「うぐいす温泉」の敷地をお借りして、期間限定で憩い・交流の場をつくり、将来を見据えた土地の利活用のあり方や再整備の可能性や方向性を探り、検証します。

地域の方々や市民のみなさんとまちがにつながる公共空間のあり方を考えるきっかけとして、中心市街地に「ちょっといい日常の風景」をつくり、来街・滞在動機の誘発を目指します。

■ 実施場所 | 紺屋町 53 うぐいす温泉敷地



■ 仮設整備イメージ



■ 安心で心地よく、「やってみたい」を気軽に

- ① 豊かな植栽に囲まれた憩いの空間に、人工芝スペースやアウトドアファニチャーを設置。
- ② キッチンカーやスイーツ & ドリンク、ポップアップ出店も可能。販売用ヤタイの貸出も行います。
- ③ 敷地の境界には仮設のフェンスを設置。夜間は立入りを制限することで安心感のある環境を維持します。



テーブル&チェア・ソファ



ハンギングパラソル



充電もできるテーブルハウス



出店用ヤタイ（貸出し）

■ スケジュール

- ・ 設営・施工期間 2月3日（月）－2月21日（金）
- ・ 社会実験実施期間 3月1日（土）－3月30日（日）※開放時間 10:00－17:00

※出店やアクティビティ開催ご希望の方は、現地見学にお申し込みください。

お問合せ・申込みは、harefull.chocotto@gmail.com にメール、または、右のQRコードから Instagram へアクセスしてダイレクトメッセージをお送りください。2/22(土)以降にて現地見学を実施します。



中心市街地公共空間活用社会実験

人吉市役所 復興建設部 市街地復興課 市街地復興係

● 社会実験に関するお問合せ 0966-22-2111

企画・計画 | 株式会社ワークヴィジョンズ 運営協力 | harefull

仮設整備協力 | 有限会社寿造園(植栽) / 株式会社 LEM 空間工房(照明) / 人吉商工会議所(アウトドアファニチャー)
西尾レントオール株式会社(アウトドアファニチャー) / 株式会社ショージ(仮設フェンス)